

## 評価結果報告書

防府市健康福祉部高齢福祉課介護給付係 宛て

提出日：令和 5 年 11 月 22 日

事業所名	24時間宅老所 新田の楽さん家
担当者名	嶋田 新一
連絡先	(0835) 21-3463

運営推進会議等での評価実施日	令和 5 年 11 月 19 日
----------------	------------------

提出書類(対象サービスの□に✓印をして下さい)

<input type="checkbox"/> 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
(別紙 1)自己評価・外部評価 評価表

<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護(介護予防含む)
(別紙 2-2)事業所自己評価
(別紙 2-4)サービス評価総括表

<input type="checkbox"/> 看護小規模多機能型居宅介護
(別紙 3-3)運営推進会議における評価

<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護
(別紙 2 の 2)自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

### 【提出先】

防府市健康福祉部高齢福祉課介護給付係  
E-mail:kfukushi@city.hofu.yamaguchi.jp

評価結果報告書と提出書類をメールで提出ください。

## 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール 新田 GH

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
<b>I. 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	理念を確認が出来るよう職員の目の届く位置で玄関前、スタッフルームに掲示している。また、事業所理念について把握出来るよう、管理者、主任より各職員へ個別でも伝えている。			全職員で理念を共有出来ているので良いと思う。事業所の個性を出す為に、新田、和楽の理念は別々の方が良いのではないかな。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	地区の大掃除に年 2 回職員のみで参加。納涼祭に入居者と一緒に参加する予定であったが、コロナ感染予防の為、地域との交流が出来ていない。	楽だより(事業所新聞)の配布箇所に関して意見が上がる。		楽だより(事業所新聞)に関しては、自治会長に渡せば回覧板で回す事が出来るので、要望があれば言ってほしい。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染が5類に移行してから、集合体での会議を開催し、委員の方へ意見をもらい、サービスの質の向上に努めている。	運営推進会議が集合体での開催になってからの取り組み状況について話し合う。		コロナ感染症が2類から5類に移行してから集合体での会議の開催になり、顔を見ながらの意見交換が出来るので、意見が出しやすくて良いと思う。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者が GH 連絡会の運営に携っており、活動内容として BCP マニュアルについてや実地指導における指導内容について等を市の職員の方にも参加して頂き、助言を受ける事で信頼関係の構築に努めている。	市町村との連携について、運営推進会議でも密に意見交換をする取り組みが出来ているとの事で意見が上がる。		制度面に関しての意見交換を密に対応している。 運営推進会議を通じて密に意見交換をする取り組みをしており、協力関係を築いている。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束適正化会議を年に 4 回開催。身体拘束についての研修を2回実施。入居者の支援内容についての課題を会議を活用し、職員間で話し合いをする事で身体拘束防止に努めている。玄関の施錠は日中は施錠しておらず、夜間 18 時から翌朝8時は防犯の為、施錠をしている。		A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夜勤は一人体制の為、入居者の方が外に出て行かれた場合を考えると施錠を行う事は、やむを得ない事だと思う。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所内研修の中で高齢者虐待研修を年に 2 回開催し、職員が虐待について学ぶ機会を設けている。管理者、主任が各職員へ入居者の支援の悩みの確認を行う事で、職員のストレスマネジメントにも努めている。		A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ストレスが溜まる仕事の為、休みをしっかり確保する事が重要である。 自分の事業所では、職員の人数が足りない状況の為、勤務が続いてしまう時もある。

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <input checked="" type="radio"/> あまりできていない D. ほとんどできていない	権利擁護に関する制度に関して、管理者が業務日誌へ権利擁護や成年後見についての資料を業務日誌へ供覧したり、内部研修を行い、職員が学ぶ機会を設けている。			成年後見制度は難しい内容でもある為、動画でも分かりやすく解説されている物もあるので、ネットを活用して研修内容に取り入れるのも良いと思う。
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の立場になり分かりやすいよう説明を行い、不安や疑問点がないかその都度確認しながら、契約を進め同意を得ている。不明点が出た場合、その都度連絡を頂き、対応をしている。			契約内容に関して不明点や変更点があればその都度連絡をもらう為、安心出来ている。
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者、家族より意見や要望が上がった場合、要望シートの作成を行い職員間で情報共有している。また、全体会議にてより良い支援に繋がれるよう話し合う機会を設けている。		A. <input checked="" type="radio"/> 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	充分に出来ていない部分のところは、どういふところなのか。そこを明確に良くしていけば良いと思う。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員会議を活用し、職員の意見を話し合う機会を設けている。管理者、主任が職員の状況によって個別で面談を行い、意向の確認をしている。代表者へ報告、相談する内容があれば、管理者が代表して経営会議や電話連絡にて報告、相談を行っている。			会議の場のみならず、日々の中で個別面談でも職員の意見を取り入れ、話し合う機会を設けている。 職員より意見が出た場合は、速やかに改善に努めてほしい。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員のモチベーションが上がるよう参加したい外部研修を受講できるよう勤務状況を把握し、現場の体制を整えたり、資格取得や勤続年数に応じて賃金テーブルの設定をしている。		A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	賃金テーブル以外でも職員のモチベーションが上がるような取り組みが必要だと思う。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各職員のスキル向上に向けて必要な研修案内を業務日誌へ情報提供している。職員が興味のある研修に関して、参加出来るように勤務体制の確保をし調整を行っている。		A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外部の研修は、どのような研修に参加されているか教えてほしい。 接遇マナー、メンター制度、働きやすい職場作りの研修に参加している事の報告を行う。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	GH連絡会、GH協会の学習会をコロナ感染予防の為、オンラインにて対応を行い、実地指導に関する内容や事業所の取り組み等について意見交換を行った。			劇団一期一会の取り組みを教えてほしい。 地域に向けて認知症をテーマとした劇を通じ認知症の方との関わり方についてやグループホームは、どういったところなのかを情報発信している事の報告を行う。

14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今までされてきた家事手伝いや掃除等自身で出来る事は職員と一緒に作業を行い、日常生活の中でやりがいをもって頂けるようにしている。			入居者の状況に応じて、これまでしてきた家事手伝い等自分で出来る事はして頂くといった取り組みは良いと思う。
15	馴染みの人や場との 関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染症が5類へ移行してから、家族や知人との面会に関し、感染状況を見極めた上で玄関先で短時間の面会を再開し、ゆっくり会話が出来るよう環境の配慮を行っている。	面会の方法について意見が上がる。		面会は本人のモチベーションにも繋がる為、出来る限り面会が出来る環境を整えてほしい。
<b>Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅で習慣としてきた事等、各入居者の意向の確認をしながら本人に合った支援の提供をしている。意思疎通が厳しい入居者に関しては、家族に意向の確認をし、本人の意向に近づけるよう支援の提供をしている。			出来る限り本人の意向に添った支援の提供に努めている。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護計画に関して、本人や家族の意向を確認し、課題内容等について職員からも意見を取り入れながら作成をしている。介護計画のモニタリングに関しては、業務日誌を活用し目標の評価をしたり、2ヶ月に一回の全体会議にて話し合いをしている。	介護計画を立案するにあたり、職員の意見はどの程度取り入れているのか意見が上がる。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護計画の課題内容に関しては、主治医の意見も取り入れているのか教えてほしい。基本的に医療面に関しては、主治医より指示があった内容を看護職員に相談しながら、介護計画の立案をしている事の報告を行う。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活状況について、D4シート(日常生活の記録)、医療日誌、業務日誌の活用を行い、勤務前に記録物の確認をする事で把握に努めている。気づきがあれば、要望シート、情報発見シート等の活用を行い、職員間の情報共有を行う事でケアの見直しをしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員間で入居者の状況を情報共有する為、様々な書式の活用をされている。記録物が沢山あるが、どのタイミングで対応されているのか教えてほしい。  職員間で連携を図りながら、入居者の方が落ちついている時に記録の記載をしている事を伝える。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常生活の中で、課題がある場合には家族へ相談の上、主治医とも連携を図りながら、必要に応じて理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等より専門的な助言をもらっている。	日常生活の中で課題が上がった場合の相談対応について意見が上がる。		日常生活の中で、その他の課題が上がった場合、その課題内容にあった専門分野に相談して支援していけば良いと思う。

20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地区の納涼祭イベントに参加する予定であったが、コロナ感染状況により中止となった。 感染状況が落ちついている時は、本人の要望より地域の美容院へ外出する事で地域の方との交流を深め、充実出来るよう支援の提供を行った。	コロナ感染症が5類へ移行になった為、地域との交流も増やしてほしい。		コロナ感染症が5類へ移行になった為、入居者の喜ばれる支援の提供を行ってほしいと思う。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看護職員が中心となり協力医療機関と連携を図り、必要に応じて24時間往診体制で適切な医療を受ける事が出来るように体制を整えている。			看護職員、主治医と24時間連絡が出来る体制が整っているのは安心出来る。
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院発生時は、家族同意のもと入院先の医療機関へ口頭での情報提供を含め情報提供書の提出を行っている。退院時には地域連携室の方と連携を図りながら情報交換を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	充分に対応出来ている。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時に重度化の指針、看取りについての内容を説明し同意を頂いた上で、家族の意向の確認を行っている。本人の状況が変化した場合は、家族、職員と今後の方向性について再度意向の確認を行い、書面に残している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化した時の家族の意向の確認が出来ている。方向性を定める事で本人も家族も安心できると思う。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変時マニュアル、事故発生時のマニュアルを作成し、職員がいつでも確認出来るようにしている。不安な職員に関しては看護職員が個別で助言を行っている。			急変時等のマニュアルの内容の中に手順通りに対応が出来ているかのチェックリストがあると良いと思う。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	防災訓練を年1回、避難訓練を年に2回行い、消防機関の方より助言を受けている。必要に応じて防災研修にも参加している。	防災訓練の取り組み状況について意見が上がる。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	防災訓練において他の施設と比べ、事前に訓練の流れの打ち合わせをする等、熱心に取り組まれている。

### Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	常に入居者の自尊心、羞恥心に配慮しながら、入浴やトイレ誘導等の声掛けや対応を行っている。入浴に関して、同性介助を希望された方に関しては同性介助で対応を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴拒否をされた入居者に関してはどう対応しているか教えてほしい。  拒否があった場合、職員を交代して対応または、時間を空けてレクやおやつの後に関心の動く声掛けをしている事の報告を行う。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の状況に応じて、食事の提供時間、起床時間を配慮したり、自室で休んで頂く時間の確保をしたり等、本人の意向を確認しながら対応を行っている。			入居者の状況に応じた対応が出来ている。その人に合った支援をするには、相手の意向の確認をする事が重要である。
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の好物、苦手な物を把握、嚥下状況に応じて食事内容の見直し、美味しく食べて頂けるよう声掛けの工夫をしている。食事作りは、職員と一緒に盛り付けや食器洗いをし頂く事でやりがいを感じている。また、季節感を味わって頂く為、定期的に食事イベントを開催している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事提供はどのように対応しているか、教えてほしい。 業者(ナリコマ)より作られた物を湯煎して提供したり、行事の時には食事の配達を中止して職員が献立を立てて食事提供をしている事の報告を行う。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事量、水分量を把握する為、当日、単月の状況がすぐ確認出来るようipad(電子機器)を活用し記録。入居者の状況によっては、主治医判断のもと、管理栄養士、言語聴覚士の方に来訪してもらい、嚥下状況や食事内容を確認してもらい、助言を受けている。			特に高齢者の方はこまめな水分の提供が必要である。一度に沢山の量の摂取は難しいと思うが、回数を分けて好まれる物で提供するのが良いと思う。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食後、口腔ケアの実施を行い、口腔内の清潔保持に努めている。本人での口腔ケアが難しい方に関しては、口腔ケアスポンジや口腔ウエットを活用し、職員が対応を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔ケアの対応が難しい入居者に関しては、どのように対応しているか教えてほしい。 口腔スポンジや口腔ウエットを活用している事の報告を行う。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自発的にトイレに行く事が難しい方に関しては、排泄チェックボードを活用し、その方の排泄状況の把握をした上で、自尊心に配慮しながら3時間から4時間を目安にトイレ誘導を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自分の事業所では24時間シートを活用し、排泄パターンを把握している。また、褥瘡委員会の中でオムツ外しの取り組みに関する研修を行っている。

				便秘予防として、体操をしたり、腹部をホットタオルで温めたりする事で自然排便を促す取り組みをしている。			
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夜間帯を除き、入居者の希望に出来るだけ対応が出来るように時間の配慮をしている。気持ち良く入浴して頂けるよう心の動く声掛けや対応の工夫をしている。			入浴を楽しむ為に、入浴剤等を取り入れてみる等の工夫をすると更に良いと思う。
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	就寝時間を決めず、入居者が休みたい時間に就寝して頂いている。日中に関して、入居者の意向の確認や状況に合わせて、自室で休んで頂く時間の確保をしている。			就寝の対応に関して、その人の状況に合わせた対応が出来ている。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	何の薬を飲まれているか、確認が出来るように薬を管理している横に、薬の説明書を置いている。薬剤訪問管理指導を契約している為、薬に関して不明点があれば24時間体制で相談出来るようになっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬剤訪問管理指導とはどういう物なのか教えてほしい。 訪問管理指導を契約する事で、薬の服用方法、効能等不明点を24時間相談が出来るようになっている事の報告を行う。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個性を活かせるよう、その入居者に合った家事手伝い、塗り絵、パズル等の個別的な作業の提供や集団でのレクリエーションで歌、体操、カルタ等の提供を行っている。	レクリエーションの内容について意見が上がる。		レクリエーションの内容もその人に合った物を提供していくと良いと思う。 また、楽しんで参加されているかの確認も必要である。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染状況を見極めながら、本人の要望により近所の美容院へ外出を行い、地域との交流を図った。家族との外出が出来ていない為、感染対策をした上で家族との外出も検討中である。	外出支援について意見が上がる。		家族の面会の制限が解除されたら、面会時に一緒に買い物を行ったり出来るの良いのではないかな。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望があれば、事前に家族へ相談し少額のお金を所持して頂いている。			要望に応じて対応していき、入居者と一緒に買い物に行って支払いのサポートを支援していくのも良いと思う。

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族に電話を掛けたいと要望があれば、事前に相談の上対応をしている。手紙や年賀状に関して、出来る方であれば職員と一緒に作成をしている。			本人の意向に添って充分に対応出来ている。
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	玄関や食堂に和テイストの飾りや季節に合った造花を飾り、家庭的な雰囲気や工夫を行っている。食堂、トイレ、各自室に湿温計を設置し、湿度、気温の確認を行い冷暖房で空調管理したり等、快適に過ごして頂ける環境作りにも努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自分の事業所では、玄関・食堂に壁面を飾る為に入居者と一緒に作成を行い、飾る事で季節が分かるようにしている。
<b>IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)</b>							
40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	出来る限り入居者の意向に沿った日生活を送る事が出来るよう、支援の提供を行っている。			毎日、本人の要望通り対応していく事は、状況によって厳しい時もあると思うが、出来る限り本人の意向にそった支援をしてほしい。
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の生活歴や暮らしの習慣をコミュニケーションを図りながら、情報収集を行っている。また、職員間で情報共有する事で一貫性のある支援に努めている。			家族や大切な人との繋がりは大切に支援してほしい。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看護職員を中心に体調管理を行い、何か特変があれば主治医へ相談し、指示を受けながらケアに努めている。		A. ③十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	24時間看護職員と連携を図る事が出来るのは強みである。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	これまでの生活習慣を本人、家族へ聞きながら本人の意向に沿った生活が出来るようにしている。共同生活の中で厳しい場面もあるが、その都度安心して頂ける声掛けや環境の工夫を行っている。			本人の要望に出来る限り応じた支援の提供をしてほしい。



44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に本人の馴染みである物(ご主人の写真、ぬいぐるみ、鞆)を持って来て頂いている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	馴染みのある物が部屋にあるという事で安心されていると思う。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナの感染状況により、買い物、外食、外部のイベント行事の参加が厳しい現状であった為、外出があまり出来ていない。 気分転換に外気浴の提供や美容院への外出支援の提供を行った。			コロナウイルス、インフルエンザの感染状況が落ちついている時には、外出支援の提供もしてほしい。
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の状況に合わせた支援(家事手伝い、カラオケ、パズル等)の提供が出来るように全職員が情報収集を行い、対応している。			入居者の方が喜ばれる支援の提供をする為に情報収集し、対応してほしい。
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	馴染みの入居者同士が自室や食堂のソファでゆっくり過ごして頂けるよう環境の工夫をしたり、食堂の席の配置も入居者同士の性格等も考慮して対応をしている。 個別で過ごしたい方に関しては、個別の空間でゆっくりして頂ける環境の配慮も行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者同士の性格等も配慮して対応されている。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	楽だよりを配布した際に、近所の方と挨拶をする程度の交流しか出来ていない。地区の納涼祭に参加予定であったが、コロナ感染状況により参加が出来なかった為、来年は参加予定である。			地域との交流も大切にしてほしい。

49	総合	<p>本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている</p>	<p>A. 十分にできている  B. ほぼできている  <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない  D. ほとんどできていない</p>	<p>充実して過ごす事が出来るよう、家事手伝い等を通じて本人の要望を聞きながら支援の提供を行い、関係性構築に努めている。以前はコロナ感染状況により地域との交流をする機会が減っていたが、今後は少しずつ地域との交流を深めていき、刺激のある日常生活支援の提供をしていきたい。</p>		<p>A. 十分にできている  <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている  C. あまりできていない  D. ほとんどできていない</p>	<p>事業所の理念をもとに入居者の方を主体として、支援の提供が来ている。今後も入居者の意向に添った支援の提供をしてほしい。また、コロナ感染症も5類へ移行となった為、地域との交流も大切にしながら、支援の提供をしてほしい。</p>
----	----	---	--	--	--	--	---

## 2. 目標達成計画

事業所名： 24時間宅老所 新田の楽さん家

作成日： 令和5年 11月 20日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域との交流に関して、コロナウイルス感染症流行時より地域との交流が減ってきている為、交流を増やしていき地域との関係性を築いていく必要がある。	インフルエンザ、コロナウイルス感染症の感染状況を見極めながら、入居者と一緒に地域との交流を増やしていく事で、地域との関係性構築に努めていく。	医療職員へ相談をしながら、感染症の状況を見極めた上で地域の方へ防災訓練に参加を促したり、地区のイベント行事の地区内大掃除、納涼祭に入居者と一緒に参加する。また、楽さん家だより(事業所広報誌)を入居者と一緒に地域へ配布する等の交流を深める。	12ヶ月
2					
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加すること。